

# 令和 2 年度 事業報告書・決算報告書

公益財団法人福武財団

令和 3 年 6 月 12 日

# 令和2年度事業報告・決算報告

## I. 事業の状況

当年度の財団は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、美術館事業全体の来館者数が、予算比では107.4%と予算達成も、前年度比20.9%、平成30年度（通常年実績）比32.7%と大きく落ち込んだ。やはり、緊急事態宣言の発令やそれに伴う美術施設の臨時休館などが大きく影響している。また、入国制限等により海外からのインバウンドが停止となり、これまで約4割を占めていた海外客がほぼゼロとなってしまったことも大きい。当財団の各美術施設では、検温、消毒、マスク着用や、密を避けるための入館者人数の制限等できる限りのコロナ対策を行いつつ、お客様の受入を行っている。

当年度は、新たな美術施設展開はなかったものの、小豆島の福武ハウスでのアジア作品展示公開や、直島の宮浦ギャラリー六区での瀬戸内「百年観光」資料館の展示があり、地元の方々を中心に好評だった。また、ソフトコンテンツの充実を目指し、美術作品鑑賞のための各種鑑賞プログラムの開発・実施が進められた。更に、宇沢フォーラムをはじめとしたWeb会議形式でのオンラインフォーラムが実施され、海外分野でも、当財団理事長によるオンライン講演会が中国向けに複数回実施されており、直島メソッドや基本理念の普及が進められている。

助成事業では、通常の助成活動は継続されているものの、助成先での活動がコロナの影響で計画どおり実施することができず延期となるケースが多発した。助成成果報告会、助成情報共有会などもオンラインでの実施となっている。

寄付受入の面でもいくつか動きがあり、福武家の信託財産様からの現金寄付受入、中国の関係団体からのマスク・防護服の現物寄付受入、小豆島福田地区での影絵プロジェクトに賛同いただいた方々からの現金寄付受入（クラウドファンディング中心）等があった。

財政面では、やはり事業収入減の影響が大きく、雇用調整助成金等や直島町からの補助金の申請・受入を行うとともに事業支出の削減等を進めたが、財源不足は解消できず、最終的には、計画どおり基本財産の一部取崩を実施した。これにより財政的難局を乗り切っていく。

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行った。（敬称略）

### A 美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

以下の美術施設の運営を行った。当年度は、瀬戸内国際芸術祭2019明けの年であり、通常年の中で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたことにより、各施設とも入館者数を大きく減少させた。

#### ① 「地中美術館」の運営

ベネッセアートサイト直島の中核施設として、安藤忠雄設計の環境へ配慮した美術館に、クロード・モネの「睡蓮」シリーズ他を展示、年間264日を開館、56,224人（対前年△133,917人、29.6%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は5,919人であった。また、当年度も予約制による運営を継続している。

## ② . 「李禹煥美術館」の運営

安藤忠雄設計の美術館に「もの派」で有名な李禹煥の作品を展示、年間 259 日を開館、16,678 人（対前年△70,209 人、19.2%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 1,681 人であった。

## ③ . 「直島銭湯『I♥湯』」の運営

大竹伸朗の作品を展示する直島銭湯「I♥湯」を年間 240 日開館、13,321 人（対前年△24,002 人、35.7%）の入館者に対し、日本文化の普及と地域交流の場の提供を行った。なお、運営は直島町観光協会に委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

## ④ . 「ANDO MUSEUM」の運営

安藤忠雄建築研究所設計の ANDO MUSEUM は、直島の木造古民家と安藤建築が融合した MUSEUM で、年間 264 日開館、17,528 人（対前年△84,005 人、29.7%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 1,359 人であった。

## ⑤ . 「宮浦ギャラリー六区」の運営

西沢大良建築設計事務所設計の宮浦ギャラリー六区は、夏季に瀬戸内「百年観光」資料館の展示が行われた。なお、年間 24 日開館し、470 人の入館があった。

## ⑥ . The Naoshima Plan「水」の運営

直島にある古い日本建築を改装した施設であり、年間 71 日開館し 12,505 人の入館があった。地域住民等の運営により地元住民と来島者の相互交流を促進した。

## ⑦ . 美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理

（株）ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

## ⑧ . 「女根／めこん」の運営

女木島にある大竹伸朗作品となる女根は、年間を通して休館であった。

## ⑨ . レアンドロ作品「不在の存在」の運営

女木島にあるレアンドロ作品となる不在の存在は、年間を通して休館であった。

## ⑩ . 「犬島精錬所美術館、犬島『家プロジェクト』、犬島 ぐらしの植物園」の運営

三分一博志設計の「犬島精錬所美術館」に、柳幸典の作品を展示、年間 188 日を開館、6,581 人（対前年△35,369 人、15.7%）の入館者に対し、循環型社会の普及を行った。また、児童等の無料入館者は 595 人であった。犬島「家プロジェクト」では、名和晃平、荒神明香、ベアトリス・ミリャーゼス、半田真規、オラファー・エリアソン等の作品を展示・運営した。また、自然とともに暮らす喜びを体験する「犬島ぐらしの植物園」の運営も行われた。

## ⑪ . 「豊島美術館」の運営

西沢立衛設計の美術館に、空間造形作家で有名な内藤礼の作品を展示、豊島の中核施設として、年間 192 日を開館、19,171 人（対前年△81,234 人、19.1%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 1,331 人であった。

## ⑫ . 「森万里子作品（トムナフーリ）」の運営

豊島の森万里子作品「トムナフーリ」は、年間を通して休館であった。

### ⑬. 「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営

生と死をテーマとしたクリスチャン・ボルタンスキーの作品を展示する美術館。年間 191 日を開館、9,377 人（対前年△44,346 人、17.5%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 572 人であった。

### ⑭. 「豊島横尾館」の運営

豊島横尾館は、建築家・永山祐子設計の建築に、横尾忠則の作品を展示した美術館で、年間 191 日を開館、8,591 人（対前年△45,751 人、15.8%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 634 人であった。

### ⑮. 「豊島八百万ラボ」の運営

豊島八百万ラボは、年間を通して閉館であった。次期芸術祭に向け、作品入れ替えを検討中。

### ⑯. 「針工場」の運営

針工場は、豊島家浦地区にある旧針工場に宇和島の造船所にあった船型を運び展示した大竹伸朗作品で、芸術祭のテーマである「海の復権」を象徴する施設となっている。年間 61 日を開館、1,755 人（対前年△21,722 人、7.5%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 167 人であった。

### ⑰. 「イル ヴェント」の運営

トビアス・レーベルガーの作品を展示する豊島の美術施設「イル ヴェント」は、年間を通して休館であった。

### ⑱. 「福武ハウス」の運営

小豆島福田地区にある福武ハウス、休校中の福田小学校の施設を活用した西沢立衛設計の美術館で、アジアのアーティストによる作品を中心に展示している。年間 29 日を開館、432 人の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 182 人であった。

### ⑲. 「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」

#### ア. 「地中ストア」の運営

オリジナル商品と地中美術館に関係する作家・建築家の書籍類を販売した。

#### イ. 「李禹煥館ストア」の運営

オリジナル商品と李禹煥及び安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

#### ウ. 「直島銭湯 I ♥ 湯ストア」でのオリジナル商品販売

オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

#### エ. 「ANDO MUSEUM ストア」の運営

オリジナル商品と関係する安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

#### オ. 「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営

オリジナル商品と関係する作家の書籍類を販売した。

#### カ. 「女根ストア」の運営

オリジナル商品と関係する大竹伸朗に関するグッズ類を販売するが、休館中。

#### キ. 「レアンドロカフェ」の運営

女木島の不在の存在のカフェにおいて、飲み物を中心とした軽食を提供するが、休館中。

#### ク. 「犬島ストア&カフェ」の運営

犬島精錬所美術館、犬島家プロジェクト、犬島くらしの植物園に関係するオリジナル商品と作家の書籍類を販売した。また、カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供した。

#### ケ. 「豊島美術館ストア&カフェ」の運営

オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売した。また、カフェでは豊島で取れた食材を中心に飲み物・軽食を提供した。

#### コ. 「ボルタンスキーストア」の運営

オリジナル商品とボルタンスキーに関する書籍類を販売した。

#### サ. 「豊島横尾館ストア」の運営

オリジナル商品と横尾忠則に関する書籍類を販売した。

#### シ. 「豊島八百万ラボストア」の運営

オリジナル商品と作家に関する書籍類を販売するが閉館中。作品入れ替えを検討中。

#### ス. 「針工場ストア」の運営

オリジナル商品と大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

#### セ. 「福武ハウスストア及び福田アジア食堂」の運営

関連作家の書籍・グッズ類を販売するとともに、アジア及び地元関連の飲み物・軽食を提供中。

#### ソ. 「地中カフェスペース」の運営委託

(株)ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

### ⑳. 美術研究の推進

美術館事業の基礎となる美術研究を進めた。特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、当年度は、次のような美術研究・国吉研究を実施した。

- ・第2期、3年目となる岡山大学寄付講座「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」へ500万円の寄付を継続実施（公益財団法人福武教育文化振興財団との共同寄付）。岡山大学では、当年度も同講座が開講され、延べ411名の学生が受講、美術鑑賞教育を学んだ。国吉研究の深化等を期待している。また、当年度は、オンラインでの活動が中心となり、以下の国吉康雄企画展等を実施し、国吉康雄の理解と普及に努めた。
- ・令和2年11月7日から11月8日、オンラインで「国吉祭 2020 presents On-line Studies」のイベントを実施した。
- ・国吉作品等を題材とした対話型鑑賞法の研究が、引き続き進められている。
- ・令和2年7月、公益社団法人企業メセナ協議会の「THIS IS MECENAT 2020」に、「対話探求型鑑賞システムを運用した地域文化芸術資源によるアートプロジェクト」の活動が認定された。

### ㉑. アーカイブの整備継続

美術品台帳、美術保存資料、画像、動画ストレージなど、美術館アーカイブの整備が急速に進んで来ている。また、その活用についても、展示企画、広報誌、新人教育、研修プログラム、鑑賞プログラムなどの場面で広がりを見せてきている。

## ②. 美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進、景観保全の推進

美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。これらを顕在化させた体験プログラムの開発等による地域振興につなげる活動や、美術施設周辺における景観保全の動きも進んできている。

## ③. 当財団美術施設としてのベネッセハウス内作品展示

ベネッセハウス内の一部スペースを賃借することにより、ベネッセハウスミュージアムの一部を当財団の美術施設として運営した。これにより、展示場所の拡大を図り、公益性の観点から、当財団所有作品の積極的な公開を行った。当年度は 308 日を開館した。

## ④. 直島における（仮称）新美術館の準備

直島に（仮称）新美術館の建設準備を進行中。建築家安藤忠雄氏の設計による美術館で、アジア系作品を中心に展示予定。

## B 美術に関するイベント並びに国際交流事業

### ① . 「シンポジウム」の開催

コロナ禍の中、次のオンラインフォーラムが開催された。

□宇沢オンラインフォーラムの実施

主催：宇沢国際学館

共催：公益財団法人福武財団

日時：令和 2 年 7 月 19 日

メイン会場：香川県香川郡直島町

テーマ：今、瀬戸内から宇沢弘文 ～自然・アートから考える社会的共通資本～

参加者・パネリスト（敬称略）：福武總一郎（当財団理事長）、渋澤健（シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役）、占部まり（宇沢国際学館代表取締役）、鈴木寛（東京大学・慶応義塾大学教授、ドミニク・チェン（学際情報学博士）、宮口あや（イーサリアム財団エグゼクティブ・ディレクター）、船橋真俊（シネコカルチャー代表理事）、森田真生（独立研究者）。

プログラム：当財団理事長によるオープニング講演ののち、「なぜいま社会的共通資本なのか」、「変革する社会と未来にひらく教育」、「とりまくものたちと生きる～生命・文化・科学～」をテーマとした各セッションが実施され、活発な意見交換が行われた。このプログラムは好評で、オンラインにて約 1,000 名の方々が視聴した。

### ②. 「教育普及及びプログラム」の実施

ア. キッズインミュージアム（対象：小中学生）

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施した。地中美術館や李禹煥美術館にて、地元の小学生向けプログラム等も実施している。

#### イ. プライベートツアー（対象：一般）

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリーツアーを開催し、ミュージアムスタッフとともに、美術館を体験するプログラムを提供した。

#### ウ. ナイトプログラム（対象：一般）

地中美術館の一部作品において開催。日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供した。

#### エ. 地域コンテンツとの一体化プログラム（対象：一般）

直島町役場スタッフと共同で直島建築ツアーを実施した。直島建築を通じて、直島の町づくりの思想を伝える機会となった。また、美術施設や地域コンテンツに関連した各種ワークショップや講演会等も実施されている。

### ③. 「米&食プロジェクト」の実施

直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供した。豊島においては、「食とアート」に結び付く活動とした。

### ④. 国際交流

#### □海外広報

コロナ禍の中ではあるが、海外の新聞・雑誌・WEBなどの広報メディアに取り上げられ、海外のメディア露出としては、94件（国内を含めた全体の26%）となっている。

#### □中国プロジェクト

- ・中国のCGPIという社会貢献団体の参加メンバーが、山東省淄博市沂源县桃花島にて「アートによる農村再生」プロジェクトを推進している。当年度も、引き続き、参加メンバーによる桃花島“家プロジェクト”が進行中。コロナ禍の中ではあるが、家プロ第2号の建築工事はほぼ完了し、塩田千春氏によるアート作品設置を準備中。このプロジェクトは中国側が事業主体であり、当財団は、直島メソッドとその背景にある基本理念の普及という立場でこのプロジェクトに協力している。

#### □その他の国際交流

- ・令和2年12月5日、第13回上海ビエンナーレのプログラム（主催：上海当代芸術博物館）として「アートと農村、アートと自然、アートと人生ーベネッセアートサイト&中国農村の事例」のテーマで当財団理事長のオンライン講演を実施。安藤忠雄氏、李禹煥氏も特別ゲストとして登壇。上海ビエンナーレ関係者、アート関係者、学者専門家など約200名がオンラインで視聴した。なお、この講演は、動画共有サイト（フォロワー数：70万人）でもライブ配信されている。
- ・上記の他にも、主に中国向け当財団理事長によるオンライン講演を多数実施。7月：清華大学主催分、9月：農村発展基金会主催分、3月：上海視覚芸術学院主催分など。講演では、ベネッセアートサイト直島及び中国農村の事例紹介が行われるとともに、当財団活動の基本理念の普及が進められた。

□文化庁の推進する大竹伸朗展（於：米国・日本）は、コロナ禍のため、延期となっている。

## ⑤. 瀬戸内国際芸術祭の共催

□瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催準備が進行中

名称：瀬戸内国際芸術祭 2022 (Setouchi Triennale 2022)

テーマ：「海の復権」

開催期間：春：2022年4月14日(木)～5月18日(水) 35日間

夏：2022年8月5日(金)～9月4日(日) 31日間

秋：2022年9月29日(木)～11月6日(日) 39日間 の 会期総計 105日間

会場：直島、犬島、豊島、男木島、女木島、小豆島、大島、高松港周辺、宇野港周辺

(春) 沙弥島、(秋) 本島、粟島、伊吹島、高見島

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長：浜田 恵造 (香川県知事)

名誉会長：真鍋 武紀 (前香川県知事)

総合プロデューサー：福武 総一郎

総合ディレクター：北川 フラム

## C 美術に関する情報提供並びに出版事業

### ① . 情報提供事業

活動全体をカバーするホームページ「ベネッセアートサイト直島」を(株)ベネッセホールディングスと共同で運営中。アート施設の紹介に加え、ベネッセアートサイト直島の活動や、瀬戸内の島々で日々起こる出来事等を紹介している。令和3年2月には大幅なホームページリニューアルを実施し、利用者の利便性が高まった。また、ソーシャルメディアを活用し、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等での情報発信も継続中。

### ②. 機関紙及び美術に関する出版物の刊行

ア. 広報紙の刊行

当年度は、年4回、以下の広報誌を発行した。

令和2年7月号：ベネッセ賞——世界と直島をつなぐ

令和2年10月号：アートとコミュニティ

令和3年1月号：瀬戸内「 」資料館

令和3年4月号：ベネッセアートサイト直島で学ぶ

ベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内、国外に向けて発信している。

イ. カタログ・ハンドブック等の刊行

地中美術館、豊島美術館など、主要施設のカタログ・ハンドブック等を刊行している。施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物としている。

## D 地域振興助成

### ①. アートによる地域振興助成

#### ア. 事業助成

令和2年度の事業助成については、次の助成を実施した。

公募助成：16件、19,010千円

なお、選考委員会は、コロナ禍の中、Web会議にて実施された。また、令和3年度に向けての募集・選考活動の準備を進めている。

アートによる地域振興助成の情報共有会を、次のとおり実施した。

実施日：令和2年12月5日

参加助成先：17団体

内容：コロナの影響により成果報告会は断念。Web会議での情報共有会となった。各団体が講じたコロナ対策、事業を存続するうえでの懸念点や対策等を共有した。一部、助成先個別の1on1形式によるオンラインフォローアップも実施した。

助成先における活動の延期

コロナ禍の中、計画されていた活動が実施できず、5件の活動が令和3年度へ延期となった。

#### イ. 研修助成

助成：4件、2,000千円（非公募）

アートによる地域振興を学びたい方へ研修助成を実施。なお、選考委員会は、コロナ禍の中、Web会議にて実施された。また、令和3年度に向けての募集・選考の準備を進めている。

### ②. 瀬戸内海地域振興助成

令和2年度の瀬戸内海地域振興助成については、次の助成を実施した。

公募助成：11件、6,980千円

なお、選考委員会は、コロナ禍の中、Web会議にて実施された。令和3年度に向けての募集・選考活動の準備を進めている。

瀬戸内海地域振興助成の成果報告会を、次のとおり実施した。

実施日：令和2年10月25日

参加助成先：14団体（16名）

内容：コロナの影響により、Web会議での成果報告会となった。成果報告、小グループによる情報交換、選考委員によるパネルディスカッション等を実施した。一部、助成先個別の1on1形式によるオンラインフォローアップも実施した。

助成先における活動の延期

コロナ禍の中、計画されていた活動が実施できず、6件の活動が令和3年度へ延期となった。

## E 地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行った。

## 令和2年度共催支援（3件）

### □瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催準備

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

### □大地の芸術祭（新潟県越後妻有）

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。また、共催助成として、助成金 10,000 千円の支払いを実施した。

### □豊島唐櫃 棚田プロジェクト（香川県豊島）

豊島「食プロジェクト」推進協議会主催の活動を積極的に支援した。また、共催助成として、助成金 2,000 千円の支払いを実施した。

## F 地域振興のためのファンドレイジング

### ①. ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営

「ふるさと納税」寄付制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられることから、これを支援し紹介するファンドレイジングサイトを運営している。

### ②. 豊島「食プロジェクト」に関するファンドレイジング

豊島唐櫃 棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進している。また、豊島棚田収穫祭にてファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を行っている。

### ③. 小豆島福田地区の影絵プロジェクトに関するファンドレイジング

小豆島福田地区での地域振興を目的とした影絵プロジェクトを実施するため、クラウドファンディングを行った。また、これに賛同する方々からのご支援もいただいた。

## G 管理部門の事業報告

- ①. コロナ禍の中での大幅減収に対応するため、基本財産の一部取崩（302 百万円）を実行した。
- ②. 美術館事業積立金の設置と各種積立金および財政基盤の再整備を行った。
- ③. 内部向けの経理研修を実施し、経理知識の普及に努めた。
- ④. 人材育成委員会を設置し、人材の採用、育成の強化に努めた。
- ⑤. 環境改善委員会の活動により、現場の声を聴きつつ、職場環境、住環境の整備を進めた。
- ⑥. 直島における美術館事業スタッフ寮建設は準備を進行中。
- ⑦. 就業規則等改訂による人事政策推進とコンプライアンス強化を実施した。
- ⑧. 理事会・評議員会の確実な実施による公益法人組織運営を推進した。
- ⑨. ベネッセアートサイト直島内各組織が一体となった会議体の運営を実行した。

## H 附属明細書

附属明細書に記載する事項なし。

## II. 処務の概要

### 1) 役員等に関する事項

(令和3年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	就任(重任) 年月日	担当職務	報酬	現職	備考
代表理事 (理事長)	非常勤	福武 総一郎	R2.6.20	業務の総括 地中美術館長	有	(株)ベネッセホールディングス 名誉顧問	
代表理事 (副理事長)	非常勤	福武 英明	R2.6.20	理事長代理	有	(株)ベネッセホールディングス 取締役	
業務執行理事 (常任理事)	非常勤	北川 フラム	R2.6.20	地中美術館副館長	有	(株)アートフロントギャラリー 代表取締役会長	
理事	非常勤	安藤 忠雄	R2.6.20		有	(株)安藤忠雄建築研究所 代表取締役	
理事	常勤	金代 健次郎	R2.6.20		有	公益財団法人福武財団 前事務局長	
理事	非常勤	樺山 紘一	R2.6.20		有	印刷博物館 館長	
理事	非常勤	小林 眞一	R2.6.20		有	直島町長	
理事	非常勤	鈴木 寛	R2.6.20		有	東京大学公共政策大学院 教授	
理事	非常勤	丹呉 泰健	R2.6.20		有	日本たばこ産業(株) 取締役会長	
理事	非常勤	西村 洋	R2.6.20		有	(株)ベネッセホールディングス 執行役員	
理事	非常勤	真鍋 武紀	R2.6.20		有	前香川県知事	
監事	非常勤	尾尻 哲洋	R2.6.20		有	辻・本郷税理士法人 特別顧問 税理士	
監事	非常勤	和田 朝治	R2.6.20		有	和田・小田弁護士事務所 代表 弁護士	

※令和3年3月31日現在の評議員数は9名、選考委員数は10名です。

### 2) 職員に関する事項

(令和3年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	採用(就任) 年月日	担当職務	報酬	備考
事務局長	常勤	宇野 恵信	H27.9.1	経営企画	有	マーケ・プロモ、地域支援・助成部長兼務
本部長	常勤	脇 清美	H29.8.1	アドミニ	有	アーカイブ部長兼務
本部長	常勤	岩下 洋子	H30.7.1	美術館運営	有	直島、犬島兼務
部長	常勤	大内 航	R2.6.20	アート	有	アート
部長	常勤	竹之内千夏	R2.6.20	美術館運営	有	豊島
部長	常勤	石井 一夫	H23.1.1	経理	有	
部長	常勤	山根 孝規	H16.6.1	総務・人事	有	
部長	非常勤	松浦 俊明	H26.9.1	財務	有	

※令和3年3月31日現在の職員数は53名、契約職員数は30名、アルバイト・パートは55名です。

### 3) 会議等に関する事項

#### ①. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 2 年 6 月 5 日	<input type="checkbox"/> 第 57 回理事会（決議の省略） 令和元年度事業報告・決算報告承認の件 第 28 回定時評議員会開催の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 2 年 6 月 20 日	<input type="checkbox"/> 第 58 回理事会 理事長・副理事長・常任理事選任の件 顧問選任の件 令和元年度事業報告・決算報告の内閣府への電子申請の件 令和 2 年度修正収支予算承認の件 令和 2 年度関連当事者との取引承認の件 地域振興助成に係る選考委員選任の件 地域振興助成に係る募集要項承認の件 議決権行使承認の件（3 分の 2 以上の特別議決） 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 事務局より報告
令和 2 年 11 月 6 日	<input type="checkbox"/> 第 59 回理事会（決議の省略） 新美術館（仮称）建設の件 新美術館用土地建物取得の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 3 年 2 月 19 日	<input type="checkbox"/> 第 60 回理事会（決議の省略） 第 61 回理事会（令和 3 年 3 月 6 日開催）を WEB にて開催する件	全会一致で承認可決
令和 3 年 3 月 6 日	<input type="checkbox"/> 第 61 回理事会 直島町からの補助金受入承認の件 就業規則他規程改訂承認の件 地域振興助成及び地域活動の共催支援（自主・共催助成）に係る助成先承認の件 令和 2 年度第 2 次修正予算承認の件 福武美津子様からの豊島横尾館土地建物現物寄付受入承認の件 直島町からの新美術館用土地無償貸与受入承認の件 美術研究（国吉研究）に係る岡山大学寄付講座の継続と同講座への寄付金支払承認の件 令和 3 年度事業計画・収支予算承認の件 令和 3 年度「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認の件 令和 3 年度事業計画・収支予算等について内閣への電子申請承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 事務局より報告

## ②. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 2 年 6 月 20 日	<input type="checkbox"/> 第 28 回定時評議員会 令和元年度事業報告・決算報告承認の件 基本財産取崩枠設定承認の件（3 分の 2 以上の特別議決） 定款変更承認の件（3 分の 2 以上の特別議決） 評議員選任の件 理事・監事選任の件 退職理事・監事・評議員への退職慰労金支給及び支給額承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決

## 4) 許可、認定、承認、証明等に関する事項

申請年月日	申 請 事 項	認定等年月日	備 考
該当なし			

## 5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手先	契約の概要
令和 2 年 4 月 1 日	慶應義塾大学 SFC 研究所	犬島研究に関する契約
令和 2 年 5 月 20 日	(有)オークス	清掃管理請負契約
令和 2 年 12 月 24 日	鹿島建設(株)、鹿島建設総合管理(株)	施設メンテナンス請負契約
令和 3 年 1 月 5 日	三分一建築設計事務所	直島寮 2 棟建設設計請負契約
令和 3 年 1 月 20 日	(株)大本組	犬島施設改修工事請負契約

## 6) 寄附金に関する事項

寄付年月日	相手先	寄付目的	寄付金額 (円)	備考
令和 2 年 4 月 1 日	中国寧夏宝豊グループ&燕宝基金	施設運営	56,895,351	マスク・防護服現物
令和 2 年 4 月 1 日	天津ロッキン基金	施設運営	1,703,367	マスク現物
令和 2 年 6 月 2 日	北京東方君公益基金会	施設運営	4,399,141	防護服現物
令和 2 年 6 月 15 日	福武家の信託財産	施設運営	214,768,860	現金
令和 2 年 7 月～10 月	一般来島者	施設維持	79,002	「水」募金収入
令和 3 年 2 月 17 日	福田自治連合会	地域振興	100,000	福田影絵イベント
令和 3 年 2 月 17 日	一般賛同者	地域振興	10,000	福田影絵イベント
令和 3 年 2 月 18 日	三菱 UFJ 銀行	地域振興	500,000	福田影絵イベント
令和 3 年 3 月 10 日	クラフトファンディング一般賛同者	地域振興	866,000	福田影絵イベント

### 7) 行政庁（内閣府）からの指示事項

指示年月日	指 示 事 項	履行状況
該当なし		

### 8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

### 9) その他重要事項

該当なし

## 令和2年度決算報告書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

I. 貸借対照表

II. 正味財産増減計算書

III. 正味財産増減計算書内訳表

IV. 財務諸表に対する注記

V. 附属明細書

VI. 財産目録

VII. 予算対比正味財産増減計算書

VIII. 予算対比収支計算書（収支ベース）

IX. 島別施設別収支計算書 【参考用】

※ 「監査報告書」

# I. 貸借対照表 (令和3年3月31日現在)

I - 1) 貸借対照表

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	126,240,640	154,450,976	△ 28,210,336
売掛金	21,466,884	2,352,308	19,114,576
未収金	1,499,017	8,094,162	△ 6,595,145
棚卸資産	90,747,153	85,766,739	4,980,414
前払金	1,977,899	992,251	985,648
前払費用	4,207,828	4,671,212	△ 463,384
立替金	2,219,227	909,843	1,309,384
仮払金	565,467	0	565,467
流動資産合計	248,924,115	257,237,491	△ 8,313,376
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	22,800,000	22,800,000	0
美術品	17,358,830,475	17,358,830,475	0
普通預金	236,327,348	136,279,405	100,047,943
投資有価証券	19,771,738,125	23,106,062,612	△ 3,334,324,487
基本財産合計	37,389,695,948	40,623,972,492	△ 3,234,276,544
(2)特定資産			
芸術祭事業積立資産	351,880,287	314,760,155	37,120,132
助成事業積立資産	74,359,522	100,056,806	△ 25,697,284
修繕積立資産	244,773,920	216,707,259	28,066,661
美術館事業積立資産	240,000,000	0	240,000,000
事務所建設積立資産	30,000,000	30,000,000	0
特定資産合計	941,013,729	661,524,220	279,489,509
(3)その他の固定資産			
土地	482,053,839	482,053,839	0
建物	3,092,431,283	3,203,435,815	△ 111,004,532
建設附属設備	162,972,813	187,200,757	△ 24,227,944
構築物	202,453,970	225,638,584	△ 23,184,614
機械装置	2,049,574	2,815,377	△ 765,803
車両運搬具	34,544	34,544	0
船舶	1	1	0
什器備品	21,109,448	28,667,617	△ 7,558,169
美術品	1,862,855,043	1,862,855,043	0
ソフトウェア	255,383	561,842	△ 306,459
建設仮勘定	37,391,800	3,742,000	33,649,800
敷金	12,210,000	12,210,000	0
その他投資等	221,810	201,810	20,000
その他の固定資産合計	5,876,039,508	6,009,417,229	△ 133,377,721
固定資産合計	44,206,749,185	47,294,913,941	△ 3,088,164,756
資産合計	44,455,673,300	47,552,151,432	△ 3,096,478,132
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	6,817,116	19,351,571	△ 12,534,455
未払金	55,499,318	6,600,000	48,899,318
未払費用	36,952,752	87,664,281	△ 50,711,529
預り金	6,240,042	6,618,449	△ 378,407
前受金	693,314	688,074	5,240
未払消費税等	3,738,900	4,371,900	△ 633,000
流動負債合計	109,941,442	125,294,275	△ 15,352,833
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	109,941,442	125,294,275	△ 15,352,833
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	38,300,709,677	41,255,496,712	△ 2,954,787,035
(うち基本財産への充当額)	(37,389,695,948)	(40,623,972,492)	3,234,276,544
(うち特定資産への充当額)	(911,013,729)	(631,524,220)	(279,489,509)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	6,045,022,181	6,171,360,445	△ 126,338,264
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
正味財産合計	44,345,731,858	47,426,857,157	△ 3,081,125,299
負債及び正味財産合計	44,455,673,300	47,552,151,432	△ 3,096,478,132

## Ⅱ. 正味財産増減計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

Ⅱ－1）正味財産増減計算書

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
①. 基本財産運用益	[ 330,467,825 ]	[ 295,489,595 ]	[ 34,978,230 ]
基本財産受取利息	50,338,965	53,559,595	△ 3,220,630
基本財産受取配当金	280,128,860	241,930,000	38,198,860
②. 特定資産運用益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[ 288,457,598 ]	[ 1,183,686,359 ]	[ △ 895,228,761 ]
④. 受取補助金	[ 16,848,066 ]	[ 0 ]	[ 16,848,066 ]
⑤. 受取寄附金	[ 415,286,200 ]	[ 561,394,025 ]	[ △ 146,107,825 ]
受取寄附金	64,552,861	551,394,025	△ 486,841,164
受取寄附金振替額	350,733,339	10,000,000	340,733,339
⑥. 雑収益	[ 700,078 ]	[ 2,323,446 ]	[ △ 1,623,368 ]
受取利息	1,565	2,260	△ 695
雑収益	698,513	2,321,186	△ 1,622,673
経常収益計	1,051,759,767	2,042,893,425	△ 991,133,658
（2）経常費用			
①. 事業費	[ 1,061,271,422 ]	[ 1,500,814,459 ]	[ △ 439,543,037 ]
期首棚卸高	85,766,739	68,136,025	17,630,714
仕入高	47,026,718	183,252,042	△ 136,225,324
期末棚卸高	△ 90,747,153	△ 85,766,739	△ 4,980,414
給与手当	302,809,453	365,371,312	△ 62,561,859
臨時雇賃金	63,923,255	81,876,354	△ 17,953,099
退職給付費用	5,917,731	5,132,410	785,321
福利厚生費	55,411,346	67,620,237	△ 12,208,891
旅費交通費	6,119,793	34,683,326	△ 28,563,533
通信運搬費	16,252,537	16,283,379	△ 30,842
什器備品費	1,175,316	1,898,262	△ 722,946
消耗品費	9,507,255	21,071,513	△ 11,564,258
減価償却費	171,836,641	183,161,314	△ 11,324,673
修繕費	80,310,072	80,632,081	△ 322,009
印刷製本費	1,774,411	7,005,938	△ 5,231,527
燃料費	1,830,969	2,415,423	△ 584,454
光熱水料費	23,852,582	29,382,528	△ 5,529,946
賃借料	33,470,241	25,444,037	8,026,204
保険料	10,354,918	16,531,078	△ 6,176,160
諸謝金	18,645,801	16,555,477	2,090,324
租税公課	18,957,139	37,872,531	△ 18,915,392
負担金	0	95,000,000	△ 95,000,000
助成費	36,221,752	59,400,000	△ 23,178,248
寄附金	65,042,667	10,000,000	55,042,667
宣伝広告費	27,572,398	62,074,073	△ 34,501,675
会議費	7,364,534	14,435,713	△ 7,071,179
交際費	605,212	2,463,248	△ 1,858,036
委託費	51,732,616	71,512,685	△ 19,780,069
雑費	8,536,479	27,370,212	△ 18,833,733

II - 2) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
②. 管理費	[ 116,489,492 ]	[ 131,538,573 ]	[ △ 15,049,081 ]
役員報酬	800,000	850,000	△ 50,000
給与手当	56,191,815	58,241,715	△ 2,049,900
臨時雇賃金	2,355,445	2,523,932	△ 168,487
役員退職給付費用	500,000	0	500,000
退職給付費用	1,031,747	1,189,209	△ 157,462
福利厚生費	10,140,291	10,587,308	△ 447,017
旅費交通費	2,502,668	10,789,784	△ 8,287,116
通信運搬費	4,911,870	4,855,261	56,609
消耗品費	1,398,172	1,571,241	△ 173,069
減価償却費	7,675,844	8,484,393	△ 808,549
修繕費	1,466,294	2,241,538	△ 775,244
印刷製本費	896,344	1,202,037	△ 305,693
燃料費	151,756	213,240	△ 61,484
光熱水料費	1,599,897	1,581,875	18,022
賃借料	3,940,528	4,244,110	△ 303,582
保険料	352,832	761,888	△ 409,056
諸謝金	4,073,854	3,514,716	559,138
租税公課	829,854	995,232	△ 165,378
会議費	4,745,756	5,904,162	△ 1,158,406
交際費	1,097,694	851,833	245,861
委託費	8,611,892	9,312,031	△ 700,139
雑費	1,214,939	1,623,068	△ 408,129
經常費用計	1,177,760,914	1,632,353,032	△ 454,592,118
評価損益等計上前当期經常増減額	△ 126,001,147	410,540,393	△ 536,541,540
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 126,001,147	410,540,393	△ 536,541,540
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	337,117	8,669,270	△ 8,332,153
經常外費用計	337,117	8,669,270	△ 8,332,153
当期經常外増減額	△ 337,117	△ 8,669,270	8,332,153
当期一般正味財産増減額	△ 126,338,264	401,871,123	△ 528,209,387
一般正味財産期首残高	6,171,360,445	5,769,489,322	401,871,123
一般正味財産期末残高	6,045,022,181	6,171,360,445	△ 126,338,264
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 2,936,756,506	△ 299,961,340	△ 2,636,795,166
特定資産評価損益等	351,338	2,942,976	△ 2,591,638
基本財産受取利息	54,818,927	57,606,837	△ 2,787,910
基本財産受取配当金	285,180,000	217,150,000	68,030,000
特定資産受取利息	51,510	220,938	△ 169,428
受取寄付金	214,768,860	3,036,150,000	△ 2,821,381,140
一般正味財産への振替額	△ 573,201,164	△ 197,489,595	△ 375,711,569
当期指定正味財産増減額	△ 2,954,787,035	2,816,619,816	△ 5,771,406,851
指定正味財産期首残高	41,255,496,712	38,438,876,896	2,816,619,816
指定正味財産期末残高	38,300,709,677	41,255,496,712	△ 2,954,787,035
III 正味財産期末残高	44,345,731,858	47,426,857,157	△ 3,081,125,299

### Ⅲ. 正味財産増減計算書内訳表（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

Ⅲ-1) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①. 基本財産運用益	[ 193,287,825 ]	[ 193,287,825 ]	[ 137,180,000 ]	[ 0 ]	[ 330,467,825 ]
基本財産受取利息	50,338,965	50,338,965	0	0	50,338,965
基本財産受取配当金	142,948,860	142,948,860	137,180,000	0	280,128,860
②. 特定資産運用益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
③. 事業収益	[ 288,457,598 ]	[ 288,457,598 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 288,457,598 ]
④. 受取補助金	[ 16,848,066 ]	[ 16,848,066 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 16,848,066 ]
⑤. 受取寄附金	[ 415,286,200 ]	[ 415,286,200 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 415,286,200 ]
受取寄附金	64,552,861	64,552,861	0	0	64,552,861
受取寄附金振替額	350,733,339	350,733,339	0	0	350,733,339
⑥. 雑収益	[ 700,078 ]	[ 700,078 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 700,078 ]
受取利息	1,565	1,565	0	0	1,565
雑収益	698,513	698,513	0	0	698,513
経常収益計	914,579,767	914,579,767	137,180,000	0	1,051,759,767
(2) 経常費用					
①. 事業費	[ 1,061,271,422 ]	[ 1,061,271,422 ]		[ 0 ]	[ 1,061,271,422 ]
期首棚卸高	85,766,739	85,766,739		0	85,766,739
仕入高	47,026,718	47,026,718		0	47,026,718
期末棚卸高	△ 90,747,153	△ 90,747,153		0	△ 90,747,153
給与手当	302,809,453	302,809,453		0	302,809,453
臨時雇賃金	63,923,255	63,923,255		0	63,923,255
退職給付費用	5,917,731	5,917,731		0	5,917,731
福利厚生費	55,411,346	55,411,346		0	55,411,346
旅費交通費	6,119,793	6,119,793		0	6,119,793
通信運搬費	16,252,537	16,252,537		0	16,252,537
什器備品費	1,175,316	1,175,316		0	1,175,316
消耗品費	9,507,255	9,507,255		0	9,507,255
減価償却費	171,836,641	171,836,641		0	171,836,641
修繕費	80,310,072	80,310,072		0	80,310,072
印刷製本費	1,774,411	1,774,411		0	1,774,411
燃料費	1,830,969	1,830,969		0	1,830,969
光熱水料費	23,852,582	23,852,582		0	23,852,582
賃借料	33,470,241	33,470,241		0	33,470,241
保険料	10,354,918	10,354,918		0	10,354,918
諸謝金	18,645,801	18,645,801		0	18,645,801
租税公課	18,957,139	18,957,139		0	18,957,139
負担金	0	0		0	0
助成費	36,221,752	36,221,752		0	36,221,752
寄附金	65,042,667	65,042,667		0	65,042,667
宣伝広告費	27,572,398	27,572,398		0	27,572,398
会議費	7,364,534	7,364,534		0	7,364,534
交際費	605,212	605,212		0	605,212
委託費	51,732,616	51,732,616		0	51,732,616
雑費	8,536,479	8,536,479		0	8,536,479

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
②. 管理費			[ 116,489,492 ]	[ 0 ]	[ 116,489,492 ]
役員報酬			800,000	0	800,000
給与手当			56,191,815	0	56,191,815
臨時雇賃金			2,355,445	0	2,355,445
役員退職給付費用			500,000	0	500,000
退職給付費用			1,031,747	0	1,031,747
福利厚生費			10,140,291	0	10,140,291
旅費交通費			2,502,668	0	2,502,668
通信運搬費			4,911,870	0	4,911,870
消耗品費			1,398,172	0	1,398,172
減価償却費			7,675,844	0	7,675,844
修繕費			1,466,294	0	1,466,294
印刷製本費			896,344	0	896,344
燃料費			151,756	0	151,756
光熱水料費			1,599,897	0	1,599,897
賃借料			3,940,528	0	3,940,528
保険料			352,832	0	352,832
諸謝金			4,073,854	0	4,073,854
租税公課			829,854	0	829,854
会議費			4,745,756	0	4,745,756
交際費			1,097,694	0	1,097,694
委託費			8,611,892	0	8,611,892
雑費			1,214,939	0	1,214,939
經常費用計	1,061,271,422	1,061,271,422	116,489,492	0	1,177,760,914
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 146,691,655	△ 146,691,655	20,690,508	0	△ 126,001,147
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期經常増減額	△ 146,691,655	△ 146,691,655	20,690,508	0	△ 126,001,147
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益	0	0	0	0	0
經常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用					
有価証券売却損	0	0	0	0	0
固定資産除却損	337,117	337,117	0	0	337,117
經常外費用計	337,117	337,117	0	0	337,117
当期經常外増減額	△ 337,117	△ 337,117	0	0	△ 337,117
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 147,028,772	△ 147,028,772	20,690,508	0	△ 126,338,264
他会計振替額	20,690,508	20,690,508	△ 20,690,508	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 126,338,264	△ 126,338,264	0	0	△ 126,338,264
一般正味財産期首残高	5,926,822,388	5,926,822,388	244,538,057	0	6,171,360,445
一般正味財産期末残高	5,800,484,124	5,800,484,124	244,538,057	0	6,045,022,181
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	△ 1,776,213,706	△ 1,776,213,706	△ 1,160,542,800	0	△ 2,936,756,506
特定資産評価損益等	351,338	351,338	0	0	351,338
基本財産受取利息	54,818,927	54,818,927	0	0	54,818,927
基本財産受取配当金	256,000,000	256,000,000	29,180,000	0	285,180,000
特定資産受取利息	51,510	51,510	0	0	51,510
受取寄付金	214,768,860	214,768,860	0	0	214,768,860
一般正味財産への振替額	△ 544,021,164	△ 544,021,164	△ 29,180,000	0	△ 573,201,164
当期指定正味財産増減額	△ 1,794,244,235	△ 1,794,244,235	△ 1,160,542,800	0	△ 2,954,787,035
指定正味財産期首残高	33,707,853,112	33,707,853,112	7,547,643,600	0	41,255,496,712
指定正味財産期末残高	31,913,608,877	31,913,608,877	6,387,100,800	0	38,300,709,677
Ⅲ 正味財産期末残高	37,714,093,001	37,714,093,001	6,631,638,857	0	44,345,731,858

## IV. 財務諸表に対する注記

### 1) 継続組織の前提に関する注記

該当なし

### 2) 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

市場価格のあるもの … 期末日の市場価格に基づく時価法（売上原価は移動平均法により算定）によっている。

市場価格のないもの … 移動平均法による原価法によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用している。

#### (3) 固定資産の減価償却方法

建物 … 定額法によっている。

建物附属設備 … 定率法によっている。

構築物 … 定率法によっている。

機械装置 … 定率法によっている。

車両運搬具 … 定率法によっている。

船舶 … 定率法によっている。

什器備品 … 定率法によっている。

ソフトウェア（自社利用）… 法人内における利用可能期間（主として5年）に基づく定額法によっている。

#### (4) 外貨建預金の評価方法

決算日の為替相場に基づく時価法によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	22,800,000	0	0	22,800,000
美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
普通預金	136,279,405	402,047,943	302,000,000	236,327,348
投資有価証券	23,106,062,612	4,474,436	3,338,798,923	19,771,738,125
小計	40,623,972,492	406,522,379	3,640,798,923	37,389,695,948
特定資産				
芸術祭事業積立資産	314,760,155	37,120,132	0	351,880,287
助成事業積立資産	100,056,806	2,716	25,700,000	74,359,522
修繕積立資産	216,707,259	51,100,000	23,033,339	244,773,920
美術館事業積立資産	0	240,000,000	0	240,000,000
事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	661,524,220	328,222,848	48,733,339	941,013,729
合 計	41,285,496,712	734,745,227	3,689,532,262	38,330,709,677

### 4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
土地	22,800,000	(22,800,000)	(0)	-
美術品	17,358,830,475	(17,358,830,475)	(0)	-
普通預金	236,327,348	(236,327,348)	(0)	-
投資有価証券	19,771,738,125	(19,771,738,125)	(0)	-
小計	37,389,695,948	(37,389,695,948)	(0)	-
特定資産				
芸術祭事業積立資産	351,880,287	(351,880,287)	(0)	-
助成事業積立資産	74,359,522	(74,359,522)	(0)	-
修繕積立資産	244,773,920	(244,773,920)	(0)	-
美術館事業積立資産	240,000,000	(240,000,000)	(0)	-
事務所建設積立資産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	-
小計	941,013,729	(911,013,729)	(30,000,000)	-
合 計	38,330,709,677	(38,300,709,677)	(30,000,000)	-

## 5) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	4,387,275,795	1,294,844,512	3,092,431,283
建物付属設備	512,887,986	349,915,173	162,972,813
構築物	677,403,820	474,949,850	202,453,970
機械装置	19,909,237	17,859,663	2,049,574
車両運搬具	4,132,318	4,097,774	34,544
船舶	3,940,000	3,939,999	1
什器備品	129,863,455	108,754,007	21,109,448
ソフトウェア	17,051,276	16,795,893	255,383
合 計	5,752,463,887	2,271,156,871	3,481,307,016

## 6) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	当期末残高
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	50,338,965
基本財産受取配当金	172,128,860
受取寄附金	350,733,339
合 計	573,201,164

## 7) 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	対象者	法人等の名称	関係内容		住所	資産総額 (単位：百万円)	事業の内容	議決権の 所有割合	取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	期末残高 (単位：円)	
			役員の 兼務等	事業上 の関係									
代表理事 理事長	福武 総一郎	(株)ハッセル デザインズ	名誉顧問	-	岡山市北 区南方3- 7-17	541,982	教育 出版他	8.0%	ハッセル入他 利用料	1,297,800	未払金	139,773	
									ハッセルミュージアム 賃借料	7,026,120	未払金	585,510	
									李美術館地代	2,393,844	前払費用	199,487	
									地中アクセス 地代	102,000	前払費用	17,000	
	代表理事 副理事長	福武 英明	-	取締役	-	-	-	-	-	宮浦駐車場地代	26,672	-	0
										関連書籍 仕入他	89,476	買掛金	0
										鑑賞料収入 商品他販売収入	10,823,854	売掛金	451,982
										地中加工賃料収入	8,256,888	前受金	688,074
業 務 執 行 理 事	北川 フラム	本人	-	-	-	-	-	-	アートレクジョン報酬	10,185,180	-	0	
		特定非営利 活動法人 瀬戸内こえ びネットワーク	代表理事	-	香川県 高松市ウ ホート1-1	-	瀬戸内国 際芸術祭 活動支援	-	施設修繕費用	23,480	未払金	23,480	
		-	-	-	-	-	-	鑑賞料収入	35,700	売掛金	10,500		
理事	鈴木寛	(有)環境創造 研究所	議決権の 全数を有 する	-	神戸市垂 水区桃山 台4-5-6	-	コンサルティング	-	業務指導料	4,888,800	未払金	407,400	
監 事	尾尻 哲洋	辻・本郷税 理士法人	特 別 顧 問	-	東京都新 宿区西新 宿1-25-1	-	会計税務 サービス	-	業務指導料	1,980,000	-	0	
監 事	和田 朝治	本人	-	-	-	-	弁護士	-	業務指導料	286,000	前払費用	88,000	
評議員	福武 美津子	本人	代 表	-	-	-	-	-	横尾館賃料	600,000	前払費用	0	
		(株)カゲラノ	代 表	-	岡山県岡 山市北区 絵図町9- 40	-	飲食 宿泊業	-	会議等食事代	36,400	未払金	0	
		(株)南方ホル デザインズ	取締役	-	岡山県岡 山市北区 南方3丁目 10番36号	-	不動産 管理業	-	出向者費用	1,540,429	未払費用	101,701	
評議員	笠原 良二	(株)直島文化 村	代表取締役 役社長	-	香川県香 川郡直島 町364番地 1	-	-	-	鑑賞料収入	5,265,595	売掛金	717,382	
									商品他販売収入	476,000	売掛金	6,100	
									美術施設 運営委託等	8,449,827	未払金	766,458	
									出向者費用	15,164,030	未払費用	1,265,761	

## 8) 公益目的保有財産の明細

公益目的保有財産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産 土地		32,550 m <sup>2</sup> 香川県直島町立石3447-1 22,800,000	公1
基本財産 美術品	直島町立石 地中美術館内 モネ5、タレル3、デマリア1 17,358,830,475		公1
基本財産 普通預金		中国銀行富田町支店 普通預金口座 236,327,348	公1
基本財産 投資有価証券		株式会社ハッセルホルディングス株式 5,014,400株 11,673,523,200	公1
基本財産 投資有価証券		公社債、投資信託、 不動産投資証券他 1,711,114,125	公1
その他固定資産 土地		409,649 m <sup>2</sup> 直島、豊島、犬島 455,609,593	公1
その他固定資産 美術品		直島、豊島、犬島 李、内藤、大竹、ボルタンスキー作品他 1,701,826,994	公1
その他固定資産 建物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 2,932,429,088	公1
その他固定資産 建物附属設備		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 159,600,264	公1
その他固定資産 構築物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 202,453,970	公1
その他固定資産 車両運搬具		直島、豊島、犬島他 軽トラック 34,543	公1
その他固定資産 工具・器具・備品		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 12,230,674	公1
その他固定資産 機械装置		直島、豊島 銭湯、ボルタンスキー他 2,049,574	公1
その他固定資産 ソフトウェア		直島 販売管理システム他 255,383	公1
その他固定資産 建設仮勘定		直島、豊島、犬島 美術施設・美術館員寮他 37,391,800	公1
その他固定資産 敷金		豊島、犬島 美術施設土地敷金他 12,210,000	公1
その他固定資産 その他投資等		直島、犬島 美術館AED保証金他 47,720	公1
合 計	17,358,830,475	19,159,904,276	

注： 公1は、「文化・芸術による地域社会の発展に関する事業」

注： 公益認定後取得不可欠特定財産はありません。

## 9) その他

### (1) 金融商品の状況に関する注記

#### 1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債、仕組預金）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

#### 2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）にさらされている。

#### 3. 金融商品のリスクに係る管理体制

##### ①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

##### ②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

##### ③市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

## V. 附属明細書

### 1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地	22,800,000	0	0	22,800,000
	美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
	普通預金	136,279,405	402,047,943	302,000,000	236,327,348
	投資有価証券	23,106,062,612	4,474,436	3,338,798,923	19,771,738,125
	基本財産計	40,623,972,492	406,522,379	3,640,798,923	37,389,695,948
特定資産	芸術祭事業積立資産	314,760,155	37,120,132	0	351,880,287
	助成事業積立資産	100,056,806	2,716	25,700,000	74,359,522
	修繕積立資産	216,707,259	51,100,000	23,033,339	244,773,920
	美術館事業積立資産	0	240,000,000	0	240,000,000
	事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
	特定資産計	661,524,220	328,222,848	48,733,339	941,013,729



## VI - 2) 財産目録

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
基本財産	普通預金	中国銀行／富田町支店 (No.1826181)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	75,678,658
		住信SBIネット銀行 ハイブリッド円 (106-1192079)	同上	133,051,352
		住信SBIネット銀行 USドル (106-1192079)	同上	27,597,338
	投資有価証券	(株)ベネッセホールディングス株式5,014,400株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	11,673,523,200
		(株)ベネッセホールディングス株式2,743,600株	運用益を管理業務の財源として使用している	6,387,100,800
		公社債 (第3回ソフトバンクG利払繰延期限前償還劣後債)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	50,070,000
		外貨建債券 (アップル豪ドル外貨建債券他18銘柄)	同上	882,460,776
		不動産投資証券 (GLP投資証券他18銘柄)	同上	465,102,200
		投資信託他 (MAXIS JPX 日経インデックス400他5銘柄)	同上	313,481,149
	特定資産	芸術祭事業積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1660533)	公益目的事業 (芸術祭事業) 実施のため
USドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.1005348)			同上	42,328,017
助成事業積立資産		普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1727514)	公益目的事業 (助成事業) 実施のため	74,358,199
		豪ドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.1005355)	同上	1,322
		NZドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.1005363)	同上	1
修繕積立資産		普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1660533)	公益目的事業 (修繕) 実施のため	244,773,920
美術館事業積立資産		普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1660533)	公益目的事業 (美術館事業) 実施のため	240,000,000
事務所建設積立資産		普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.1660533)	管理業務の財源とするため	30,000,000

## VI - 3) 財産目録

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の固定資産	土地		公益目的事業及び管理業務に使用	482,053,839
	建物		公益目的事業及び管理業務に使用	3,092,431,283
	建物附属設備		公益目的事業及び管理業務に使用	162,972,813
	構築物		公益目的事業に使用	202,453,970
	機械装置		公益目的事業に使用	2,049,574
	車両運搬具		公益目的事業及び管理業務に使用	34,544
	船舶		管理業務に使用	1
	什器備品		公益目的事業及び管理業務に使用	21,109,448
	美術品		公益目的事業に使用	1,862,855,043
	ソフトウェア		公益目的事業に使用	255,383
	建設仮勘定		公益目的事業に使用	37,391,800
	敷金		公益目的事業に使用	12,210,000
	その他投資等		公益目的事業及び管理業務に使用	221,810
固定資産合計			44,206,749,185	
資産合計			44,455,673,300	
(流動負債)				
買掛金		事業費に係る買掛金	6,817,116	
未払金		事業費及び管理費に係る未払金	55,499,318	
未払費用		事業費及び管理費に係る未払費用	36,952,752	
未払消費税		事業費に係る未払消費税	3,738,900	
預り金		事業費及び管理費に係る預り金	6,240,042	
前受金		事業費に係る前受金	693,314	
流動負債合計			109,941,442	
(固定負債)				
固定負債合計			0	
負債合計			109,941,442	
正味財産			44,345,731,858	

## Ⅶ. 予算対比正味財産増減計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

Ⅶ-1) 予算対比正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[ 331,601,359 ]	[ 330,467,825 ]	[ 1,133,534 ]
基本財産受取利息	56,752,499	50,338,965	6,413,534
基本財産受取配当金	274,848,860	280,128,860	△ 5,280,000
②. 特定資産運用益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[ 269,135,271 ]	[ 288,457,598 ]	[ △ 19,322,327 ]
④. 受取補助金	[ 15,988,406 ]	[ 16,848,066 ]	[ △ 859,660 ]
⑤. 受取寄附金	[ 427,097,656 ]	[ 415,286,200 ]	[ 11,811,456 ]
受取寄附金	63,942,861	64,552,861	△ 610,000
受取寄附金振替額	363,154,795	350,733,339	12,421,456
⑥. 雑収益	[ 544,530 ]	[ 700,078 ]	[ △ 155,548 ]
受取利息	1,736	1,565	171
雑収益	542,794	698,513	△ 155,719
経常収益計	1,044,367,222	1,051,759,767	△ 7,392,545
(2) 経常費用			
①. 事業費	[ 1,064,443,710 ]	[ 1,061,271,422 ]	[ 3,172,288 ]
期首棚卸高	85,766,739	85,766,739	0
仕入高	48,873,895	47,026,718	1,847,177
期末棚卸高	△ 96,661,089	△ 90,747,153	△ 5,913,936
給与手当	302,695,391	302,809,453	△ 114,062
臨時雇賃金	65,209,385	63,923,255	1,286,130
退職給付費用	5,940,942	5,917,731	23,211
福利厚生費	57,105,701	55,411,346	1,694,355
旅費交通費	6,406,400	6,119,793	286,607
通信運搬費	16,546,977	16,252,537	294,440
什器備品費	711,680	1,175,316	△ 463,636
消耗品費	8,635,859	9,507,255	△ 871,396
減価償却費	171,710,670	171,836,641	△ 125,971
修繕費	83,621,128	80,310,072	3,311,056
印刷製本費	1,813,704	1,774,411	39,293
燃料費	1,858,128	1,830,969	27,159
光熱水料費	23,979,070	23,852,582	126,488
賃借料	33,359,588	33,470,241	△ 110,653
保険料	10,438,568	10,354,918	83,650
諸謝金	19,210,258	18,645,801	564,457
租税公課	14,344,939	18,957,139	△ 4,612,200
負担金	0	0	0
助成費	37,412,070	36,221,752	1,190,318
寄附金	65,042,667	65,042,667	0
宣伝広告費	28,653,332	27,572,398	1,080,934
会議費	7,720,586	7,364,534	356,052
交際費	747,422	605,212	142,210
委託費	54,013,744	51,732,616	2,281,128
雑費	9,285,956	8,536,479	749,477

## VII - 2) 予算対比正味財産増減計算書

(単位: 円)

科 目	予算	決算	差異
②. 管理費	[ 117,873,450 ]	[ 116,489,492 ]	[ 1,383,958 ]
役員報酬	800,000	800,000	0
給与手当	56,334,304	56,191,815	142,489
臨時雇賃金	2,400,100	2,355,445	44,655
役員退職給付費用	500,000	500,000	0
退職給付費用	1,175,215	1,031,747	143,468
福利厚生費	10,400,713	10,140,291	260,422
旅費交通費	3,126,343	2,502,668	623,675
通信運搬費	4,848,741	4,911,870	△ 63,129
消耗品費	1,323,359	1,398,172	△ 74,813
減価償却費	7,671,245	7,675,844	△ 4,599
修繕費	1,385,954	1,466,294	△ 80,340
印刷製本費	976,038	896,344	79,694
燃料費	253,761	151,756	102,005
光熱水料費	1,560,033	1,599,897	△ 39,864
賃借料	3,863,098	3,940,528	△ 77,430
保険料	348,832	352,832	△ 4,000
諸謝金	3,438,854	4,073,854	△ 635,000
租税公課	909,754	829,854	79,900
会議費	5,260,690	4,745,756	514,934
交際費	1,080,625	1,097,694	△ 17,069
委託費	8,827,100	8,611,892	215,208
雑費	1,388,691	1,214,939	173,752
經常費用計	1,182,317,160	1,177,760,914	4,556,246
評価損益等計上前当期經常増減額	△ 137,949,938	△ 126,001,147	△ 11,948,791
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 137,949,938	△ 126,001,147	△ 11,948,791
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	337,117	△ 337,117
經常外費用計	0	337,117	△ 337,117
当期經常外増減額	0	△ 337,117	337,117
当期一般正味財産増減額	△ 137,949,938	△ 126,338,264	△ 11,611,674
一般正味財産期首残高	6,171,360,445	6,171,360,445	0
一般正味財産期末残高	6,033,410,507	6,045,022,181	△ 11,611,674
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	△ 2,936,756,506	2,936,756,506
特定資産評価損益等	0	351,338	△ 351,338
基本財産受取利息	60,510,302	54,818,927	5,691,375
基本財産受取配当金	279,900,000	285,180,000	△ 5,280,000
特定資産受取利息	29,754	51,510	△ 21,756
受取寄付金	214,768,860	214,768,860	0
一般正味財産への振替額	△ 586,756,154	△ 573,201,164	△ 13,554,990
当期指定正味財産増減額	△ 31,547,238	△ 2,954,787,035	2,923,239,797
指定正味財産期首残高	41,255,496,712	41,255,496,712	0
指定正味財産期末残高	41,223,949,474	38,300,709,677	2,923,239,797
III 正味財産期末残高	47,257,359,981	44,345,731,858	2,911,628,123

## Ⅷ. 予算対比収支計算書（収支ベース）（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

Ⅷ-1) 予算対比収支計算書（収支ベース）

（単位：円）

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①	基本財産運用収入	448,410,302	447,998,927	411,375	
②	特定資産運用収入	29,754	51,510	△ 21,756	
③	事業収入	269,135,271	288,457,598	△ 19,322,327	来館者数増に伴う事業収入の増加
④	補助金収入	15,988,406	16,848,066	△ 859,660	香川県感染症防止協力金、両立支援助成金の増加
⑤	寄附金収入	278,711,721	279,321,721	△ 610,000	小豆島地域活動賛同者からの寄付金増加
⑥	雑収入	544,530	700,078	△ 155,548	
	事業活動収入計	1,012,819,984	1,033,377,900	△ 20,557,916	
2. 事業活動支出					
①	事業費支出				
	仕入高	48,873,895	47,026,718	1,847,177	仕入の一部納期変更による
	給与手当支出	302,695,391	302,809,453	△ 114,062	
	臨時雇賃金支出	65,209,385	63,923,255	1,286,130	アルバイト未充足による
	退職給付支出	5,940,942	5,917,731	23,211	
	福利厚生費支出	57,105,701	55,411,346	1,694,355	社会保険料の減少による
	旅費交通費支出	6,406,400	6,119,793	286,607	
	通信運搬費支出	16,546,977	16,252,537	294,440	
	什器備品費支出	711,680	1,175,316	△ 463,636	
	消耗品費支出	8,635,859	9,507,255	△ 871,396	
	修繕費支出	83,621,128	80,310,072	3,311,056	科目の振り替わりによる
	印刷製本費支出	1,813,704	1,774,411	39,293	
	燃料費支出	1,858,128	1,830,969	27,159	
	光熱水料費支出	23,979,070	23,852,582	126,488	
	賃借料支出	33,359,588	33,470,241	△ 110,653	
	保険料支出	10,438,568	10,354,918	83,650	
	諸謝金支出	19,210,258	18,645,801	564,457	
	租税公課支出	14,344,939	18,957,139	△ 4,612,200	事業収入増加に伴う消費税の増加
	支払負担金支出	0	0	0	
	助成費支出	37,412,070	36,221,752	1,190,318	一部辞退による助成金減少
	寄附金支出	65,042,667	65,042,667	0	
	宣伝広告費支出	28,653,332	27,572,398	1,080,934	宣伝広告費の一部未使用による
	会議費支出	7,720,586	7,364,534	356,052	
	交際費支出	747,422	605,212	142,210	
	委託費支出	54,013,744	51,732,616	2,281,128	科目の振り替わりによる
	雑費支出	9,285,956	8,536,479	749,477	
	小計	903,627,390	894,415,195	9,212,195	
②	管理費支出				
	仕入高	0	0	0	
	役員報酬支出	800,000	800,000	0	
	給与手当支出	56,334,304	56,191,815	142,489	
	臨時雇賃金支出	2,400,100	2,355,445	44,655	
	役員退職給付支出	500,000	500,000	0	
	退職給付支出	1,175,215	1,031,747	143,468	
	福利厚生費支出	10,400,713	10,140,291	260,422	
	旅費交通費支出	3,126,343	2,502,668	623,675	管理部門の旅費削減による
	通信運搬費支出	4,848,741	4,911,870	△ 63,129	
	消耗品費支出	1,323,359	1,398,172	△ 74,813	
	修繕費支出	1,385,954	1,466,294	△ 80,340	
	印刷製本費支出	976,038	896,344	79,694	
	燃料費支出	253,761	151,756	102,005	
	光熱水料費支出	1,560,033	1,599,897	△ 39,864	
	賃借料支出	3,863,098	3,940,528	△ 77,430	
	保険料支出	348,832	352,832	△ 4,000	
	諸謝金支出	3,438,854	4,073,854	△ 635,000	人事コンサル費増加と科目の振り替わり
	租税公課支出	909,754	829,854	79,900	
	会議費支出	5,260,690	4,745,756	514,934	オンライン促進による会議費減少
	交際費支出	1,080,625	1,097,694	△ 17,069	
	委託費支出	8,827,100	8,611,892	215,208	
	雑費支出	1,388,691	1,214,939	173,752	
	小計	110,202,205	108,813,648	1,388,557	
	事業活動支出計	1,013,829,595	1,003,228,843	10,600,752	
	事業活動収支差額	△ 1,009,611	30,149,057	△ 31,158,668	

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
<b>Ⅱ 投資活動収支の部</b>					
1. 投資活動収入					
①	基本財産取崩収入	302,000,000	302,000,000	0	基本財産取崩を計画どおり実施
②	特定資産取崩収入	0	0	0	
	特定資産取崩収入	22,154,795	23,033,339	△ 878,544	
	特定資産取崩収入	0	0	0	
	特定資産取崩収入	39,000,000	25,700,000	13,300,000	助成積立取崩額の減少
	投資活動収入計	363,154,795	350,733,339	12,421,456	
2. 投資活動支出					
①	基本財産取得支出	3,757,803	4,479,962	△ 722,159	
②	その他固定資産取得支出	28,518,100	46,471,881	△ 17,953,781	新美術施設関連支出他の増加
③	特定資産取得支出	36,747,918	36,768,918	△ 21,000	
	特定資産取得支出	1,836	2,592	△ 756	
	特定資産取得支出	51,100,000	51,100,000	0	
	特定資産取得支出	240,000,000	240,000,000	0	
	特定資産取得支出	0	0	0	
④	敷金支出	0	0	0	
	投資活動支出計	360,125,657	378,823,353	△ 18,697,696	
	投資活動収支差額	3,029,138	△ 28,090,014	31,119,152	
<b>Ⅲ 財務活動収支の部</b>					
1. 財務活動収入					
①	借入金収入	0	0	0	
	財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出					
①	借入金返済支出	0	0	0	
	財務活動支出計	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
<b>Ⅳ 予備費支出</b>					
	予備費支出	0	0	0	
	当期収支差額	2,019,527	2,059,043	△ 39,516	
	前期繰越収支差額	46,176,477	46,176,477	0	
	次期繰越収支差額	48,196,004	48,235,520	△ 39,516	

## IX. 島別施設別収支計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）【参考用】

(単位：千円)

勘定科目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中	李	銭湯	ANDO	六区		女根&レフト <sup>ロ</sup>	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	114,596	15,956	8,028	8,439	0		0	147,019
	公益販売事業収入	42,327	5,630	8,910	1,199	7		0	58,072
	小計	156,924	21,586	16,937	9,638	7		0	205,091
その他収入	雑収入他	28	92	0	5	0		0	126
<b>事業活動収入計</b>		<b>156,952</b>	<b>21,678</b>	<b>16,937</b>	<b>9,643</b>	<b>7</b>		<b>0</b>	<b>205,217</b>
2. 事業活動支出									
事業費支出		208,516	45,944	30,937	10,068	2,834		1,610	299,908
<b>事業活動支出計</b>		<b>208,516</b>	<b>45,944</b>	<b>30,937</b>	<b>10,068</b>	<b>2,834</b>		<b>1,610</b>	<b>299,908</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>【決算】</b>	<b>△ 51,564</b>	<b>△ 24,265</b>	<b>△ 13,999</b>	<b>△ 425</b>	<b>△ 2,827</b>		<b>△ 1,610</b>	<b>△ 94,691</b>
	<b>【予算】</b>	<b>△ 64,246</b>	<b>△ 26,397</b>	<b>△ 15,304</b>	<b>△ 1,651</b>	<b>△ 3,981</b>		<b>△ 1,616</b>	<b>△ 113,194</b>
	増減	12,681	2,131	1,304	1,227	1,154		6	18,503

勘定科目		犬島・豊島・小豆島グループ							
大科目	中科目	犬島	豊島美・森	ボル	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	12,693	29,392	4,732	4,179	0	839	128	51,962
	公益販売事業収入	8,268	18,657	3,512	605	0	298	65	31,405
	小計	20,961	48,049	8,243	4,784	0	1,137	192	83,366
その他収入	雑収入他	0	45	1	2	0	1	0	51
<b>事業活動収入計</b>		<b>20,961</b>	<b>48,094</b>	<b>8,245</b>	<b>4,787</b>	<b>0</b>	<b>1,138</b>	<b>192</b>	<b>83,417</b>
2. 事業活動支出									
事業費支出		89,231	111,562	10,579	13,561	295	3,469	2,596	231,294
<b>事業活動支出計</b>		<b>89,231</b>	<b>111,562</b>	<b>10,579</b>	<b>13,561</b>	<b>295</b>	<b>3,469</b>	<b>2,596</b>	<b>231,294</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>【決算】</b>	<b>△ 68,270</b>	<b>△ 63,468</b>	<b>△ 2,334</b>	<b>△ 8,774</b>	<b>△ 295</b>	<b>△ 2,332</b>	<b>△ 2,404</b>	<b>△ 147,877</b>
	<b>【予算】</b>	<b>△ 67,120</b>	<b>△ 70,986</b>	<b>△ 3,195</b>	<b>△ 8,830</b>	<b>△ 320</b>	<b>△ 2,347</b>	<b>△ 2,095</b>	<b>△ 154,893</b>
	増減	△ 1,150	7,518	862	55	25	16	△ 309	7,016

令和 3 年 5 月 11 日

公益財団法人 福武財団  
理事長 福武 總一郎 殿

公益財団法人 福武財団

監事 和田 朝治 

監事 尻尻 哲洋 

## 監査報告書

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの公益財団法人福武財団の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上